

伝えたい 残したい

# 20世紀 のうしく

問 文化芸術課(市中央生涯学習センター内) ☎871-2301

## 田植え(小坂町)

昭和15~16年頃撮影  
小坂町在住 斎藤氏所蔵



昭和15~16年頃に撮影された小坂町での田植えの様子です。当時、この地域の田んぼは水はけの悪い湿田が多く、農作業は大変でした。田植えは6月半ばに行われ、また人手がかかるため、親戚や近所でヨイ(結)と呼ばれる組をつくり、お互いに助け合っていました。昭和40年頃から土地改良が進むと同時に苗の品種が改良され、現在では田植えの大半が、5月の連休に行われます。



明治・大正・昭和の

「昔のうしく」の写真を募集しています。



## 牛久の巨樹

問 都市計画課 ☎内線2522

### 正直町皇産霊神社のケヤキ(2本)



▲市民の木No.29  
本殿前



▲市民の木No.30  
本殿に向かって右側

国道408号を成田方面へ進み、正直町交差点手前の左側が皇産霊神社で、参道を進み石段を上った境内に「市民の木」が5本あり、「No・29ケヤキ」は本殿前、「同No・30ケヤキ」

は本殿に向って右側に立っています。2006年の測定では、「No・29」が幹周3・53m、樹高24・4m、最大樹冠幅22・6m、「No・30」が同じく3・08m、25・5m、18・5mでした。後者は写真のように根上がりが著しく、隣接するムクノキの根と一体化しています。

ケヤキは県全域に分布、市内でも斜面林などに自生し、公園・屋敷などに植栽され、巨樹となっています。皇産霊神社は祭神が皇産霊命で、天延元年(973年)創立と伝えられています。

【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ(文章:平塚芳雄、写真:No・29 戸塚昌宏、No・30 増田勝彦)

「牛久の巨樹」P108~109掲載 ※お求めは都市計画課まで(1200円)

## 文芸さろん | 水無月 |

行楽地右往左往で疲れ果て  
バラ園や花の香に蝶の乱舞かな  
片言の稚児が主役や子供の日  
目に若葉畑に野菜生きている  
シャトーの灯グラスに映える花ふぶき  
鯉のぼり風さわやかにひと泳ぎ  
シニアカードお得意いっぱいハートフル  
石垣に鏡のごとく輝くは

西日をうけし山吹の葉

雅子さん  
岡村さん  
高階さん  
小山さん  
塚本さん  
荒井さん  
月田さん  
高橋さん

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係

FAX: 873-2512

E-mail: shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)